

新版 指導要文集

しんぱん

しどうようもんしゅう

だいにしょう

じっせん

第二章 実践

ゆうき

にんたい

勇気・忍耐

わでしとう

こころ

ほけきよう

しんみよう

惜

我が弟子等、

心みに法華經のごとく身命もおしまず

しゆぎよう

たびぶつぼう

こころ

修行して、この度仏法を心みよ。

(009 撰時抄

せんじしよう

ゆうき

にんたい

勇氣・忍耐 210 ページ 1 行)

きよう

い

すなわ

ゆうみよう

すなわ

しょうじん

経に云わく「これは則ち勇猛なり。これは則ち精進

かい

たも

ずだ

ぎよう

もの

な

なり。これを戒を持ち、頭陀を行ずる者と名づく」

いちだいししょうぎようたいい

017 一代聖教大意

ゆうき

にんたい

勇気・忍耐 343 ページ 4 行

今、にちれんとう たぐ 日蓮等の類い、なんみようほうれんげきよう とな たてまつ もの 南無妙法蓮華經と唱え奉る者は、

ぶつちよく ねん 仏勅を念ずるが故に、ゆえ おうにん 「応忍」とは云うなり。

095
御義口伝

ゆうき にんたい 勇氣・忍耐
1029 ページ 5 行

ほつけ ぎようじゃ

めり

にんにく

ぎよう

しんに

法華の行者は、罵詈せらるれども忍辱を行ずるは、瞋恚

やまい のぞ

の病を除くなり。

（095 おんぎくでん
御義口伝

ゆうき

にんたい

勇氣・忍耐

1053

ページー2行

ほんげぐつう みようほうれんげきよう だいにんにく ちから

本化弘通の妙法蓮華經を大忍辱の力をもつて弘通する

しやば

を、「娑婆」と云うなり。「忍辱」は、寂光土なり。この

にんにく

じやつこうど

にんにく

しやかむにぶつ

忍辱の心を、「釈迦牟尼仏」といえり。「娑婆」とは、

しやば

かんにんせかい い

堪忍世界と云うなり

おんぎくでん

(095 御義口伝

ゆうき

にんたい

勇氣・忍耐

1073

ページー16行)

強敵を伏して始めて力士をしる。

（122 佐渡御書）

勇気・忍耐
1285 ページ 17 行

強い敵をたおして、はじめて力の強い人であることがわかるので

す。

ほけきよう

と

ひと

にゆうわにんにくえ

もう

かなら

ころも

法華經を説く人は、「柔和忍辱衣」と申して必ず衣ある

べし。

おんころもならびにひとえごしよ

(131 御衣並単衣御書

ゆうき

にんたい

勇氣・忍耐 1310 ページ 9 行

ほけきよう

と

ひと

ほけきようほつしほん

にゆうわにんにく

ころも

法華經を説く人は、法華經法師品にある「柔和忍辱の衣

しょうほう

ひろ

なん

た

しの

こころかま

(正法を弘めるためにはどんな難にあつても耐え忍ぶ心構えのこ

ころも

き

と)」という衣を着ているのです。

こんど

念

暮

ほけきよう

ごりしようこころ

たま

今度にようじくらしして法華經の御利生心みさせ給え。

にちれん

ごうじよう

てん

もう

あ

そうろう

謙

日蓮もまた強盛に天に申し上げ候なり。いよいよ、へ

こころ根

姿

さだ

によにん

こころ

弱

る心ね・すがたおわすべからず。定めて、女人は心ゆわ

御前

こころ

翻

きにておわすれば、ごぜんたちは心ひるがえりてやおわ

強

盛

齒嚙

弛

こころ

すらん。ごうじようにはがみをして、たゆむ心なかれ。

きようだいしよう

(171 兄弟抄

ゆうき

にんたい

勇氣・忍耐

1474

ページー17行)

これより後のちも、いかなることありとも、すこしもたゆむこ
となかれ。いよいよはりあげてせむべし。たとい命いのちに及およ
ぶとも、すこしもひるむことなかれ。怯

174 兵衛志殿御返事ひょうえのさかんどのごへんじ (鎌足造仏の事)かまたりぞうぶつ こと

勇氣・忍耐ゆうき にんたい
1484 ページ 11 行

いちじよう ほり こ もの にじようさんじよう ほり こ

一丈の堀を越えざる者、二丈三丈の堀を越えてんや。

易 あめ 降 たま 難 おうじよう

やすき雨をだにふらし給わず、いわんやかたき往生・

じようぶつ

成仏をや。

よりもとちんじよう

(207 頼基陳状

ゆうき にんたい

勇氣・忍耐 1575 ページー17行)

いちじよう ほり こ もの にじよう さんじよう ほり こ

一丈の堀を超えられない者が、どうして二丈、三丈の堀を超

あめ ふ かんたん

えることができましたようか。雨を降らすという簡単なことさえできな

むずか おうじようじようぶつ

いのに、どうして難しい往生成仏をさせることができるでしょ

うか。

おのおの

ししおう

こころ

と

い

ひと

各々、師子王の心を取り出だして、いかに人おどすとも

ししおう

ひやくじゅう

しし

こ

おずることなかれ。師子王は百獣におじず。師子の子、

かれ

やかん

にちれん

いちもん

またかくのごとし。彼らは野干のほうるなり。日蓮が一門

しし
ほ

は師子の吼うるなり。

しょうにんごなんじ

(219 聖人御難事

ゆうき

にんたい

勇気・忍耐 1620 ページ 1 行)

がた

ししおう

つよ

こころ

ひと

あなた方は師子王のような強い心をもつて、どんなに人がおどし

おそ

ししおう

けもの

おそ

しし

ても恐れてはなりません。師子王はどんな獣も恐れませんが、師子の

こ

おな

しょうほう

はんたい

ひと

やかん

子もまた同じです。かれら正法に反対する人びとは、野干

きつね

ほ

（狐）が吼えているようなものです。

にちれん

いちもん

しし

とな

おな

のと同じです。

日蓮の一門は師子が唱える

な
に
の
兵
法
よ
り
も
法
華
經
の
兵
法
を
も
ち
い
給
う
べ
し。
「
諸
余

へいほう
おんてき

きんげん

きんげん 虚

の
怨
敵
は
、
み
な
摧
滅
す
」
の
金
言
む
な
し
か
る
べ
か
ら
ず
。

へいほう

けんぎよう

だいじ

みようほう

い

しんじん

兵
法
・
劍
形
の
大
事
も
こ
の
妙
法
よ
り
出
で
た
り
。
ふ
か
く
信
心

たま

おくびよう

かな

そうろう

を
と
り
給
え
。
あ
え
て
臆
病
に
て
は
叶
う
べ
か
ら
ず
候
。

しじようきんごどのごへんじ

ほけきようへいほう こと

(220 四
条
金
吾
殿
御
返
事
(法
華
經
兵
法
の
事
)

ゆうき

にんたい

勇
氣
・
忍
耐
1623
ペ
ー
ジ
ー
9
行
)

さくせん

ほけきよう

へいほう

しんじん

こんぽん

ど
の
よ
う
な
作
戦
よ
り
も
法
華
經
の
兵
法
(信
心
)
を
根
本
に
し
て
い
く
べ

ほけきようやくおうほんだいにじゅうさん

もろもろ

よ

おんてき

みなことごと

き
で
す
。
法
華
經
藥
王
品
第
二
十
三
の
「
諸
の
余
の
怨
敵
、
皆
悉
く

さいめつ

きんげん

さくせん

けんじゆつ

摧
滅
す
」
と
あ
る
金
言
は
け
つ
し
て
う
そ
で
は
あ
り
ま
せ
ん
。
作
戦
や
劍
術

こんぽんげんり

みようほう

で

ふか

しん

の根本原理はこの妙法から出たものです。このことを深く信じて

おくびよう

いの

かな

いきなさい。あえて臆病でどんな祈りも叶うことはありません。

ねが わ でしとう ししおう こ ぐんこ わら

願わくは、我が弟子等、師子王の子となりて、群狐に笑わ

か こおんのんごう このかた にちれん

るることなかれ。過去遠々劫より已来、日蓮がごとく

しんみよう 捨 ごうてき とが あらわ し あ 難

身命をすてて強敵の科を顕す師には値いがたかるべし。

こくおう せ 猶 恐 況 えんま 責 にほん

国王の責めなおおそろし、いおうや閻魔のせめをや。日本

こく 責 みず 濡 恐

国のせめは水のごとし。ぬるるをおそろることなかれ。

えんま 責 ひ はだか い 思

閻魔のせめは火のごとし。裸にして入るとおもえ。

えんぶだいちゆうごしよ

394 閻浮提中御書

ゆうき にんたい

勇気・忍耐 2048 ページ 13 行

ねんがん わたし にちれん でし ししおう こ

念願することは、私（日蓮）の弟子たちが師子王の子となつ

きつね

ほうぼう

やから

わら

て、狐たちのような謗法の輩に笑われることがあつてはなりません。

とお

かこ

むかし

しょうほうぐつう

きようてき

あやま

ん。遠い過去の昔から、正法弘通のためにおきる強敵の過ち

にちれん

しんみよう

す

しし

をこの日蓮のように身命を捨ててあらわしていきなさい。師子には

にほんこく

こくしゆ

せ

おそ

あいがたいのです。また、日本国の国主の責めでさえ恐ろしいもの

えんまほうおう

せ

おそ

です。まして閻魔法王の責めはなおさら恐ろしいのです。ちようど

せほう

こっか

せ

みず

しんじんしゆぎよう

世法である国家の責めは水にぬれるようなものであり、信心修行の

おそ

えんまほうおう

せ

ひ

ためには恐れることはありません。しかし閻魔法王の責めは火にあぶ

はだか

じごく

くる

う

おも

られるようなものであり、裸にされて地獄の苦しみを受けると思ひ

なさい。